

平成24年行政事業レビューシート

(国土交通省)

<b>事業名</b>	浮体式洋上風力発電施設の安全性に関する研究開発		<b>担当部局庁</b>	海事局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H23/H23		<b>担当課室</b>	総務課技術企画室		室長 田口 昭門		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	41 技術研究開発を推進する				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、 通知等</b>	エネルギー基本計画等				
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	浮体式洋上風力発電施設を、洋上という厳しい自然環境条件において安全に稼働させるための技術的検討等を実施し、安全確保の観点から風力発電の普及拡大に必要な環境整備を行うことを通じ、我が国の海事産業の振興を図る。							
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	浮体式洋上風力発電施設の技術的課題として考えられる、大規模展開に伴う漂流リスク等の評価等、浮体・係留設備に係る安全性に関する要素技術に関する検討等を実施するとともに、それら成果等をベースとして、安全ガイドラインを作成する。具体的には、日本の気象・海象条件下での浮体の安全確保、船舶衝突時等非常時の安全確保、設置及び維持管理の安全・効率性の確保、大規模展開時の相互影響からの安全確保等について検討する。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>	予算 の 状 況	当初予算	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度要求	
		補正予算			7			
		繰越し等			0			
		計			7			
	執行額			6				
	執行率 (%)			85.0				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	<b>成果指標</b>		成果実績	単位	21年度	22年度	23年度	目標値 (年度)
	本事業は、浮体式洋上風力発電施設の安全確保等について技術的課題を検討する調査及び検証事業であり、成果目標及び成果実績(アウトカム)を定めて実施するという性質のものではない。			達成度	%			
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	<b>活動指標</b>		活動実績 (当初見込み)	単位	21年度	22年度	23年度	24年度活動見込
	本事業は、浮体式洋上風力発電施設の安全確保等について技術的課題を検討する調査及び検証事業であり、活動指標及び活動実績(アウトプット)を定めて実施するという性質のものではない。					( )	( )	( )
<b>単位当たり コスト</b>	(円/ )		算出根拠					
平成24・25年度 予算内訳	<b>費目</b>	24年度当初予算	25年度要求	主な増減理由				
	計							

事業所管部局による点検			
	評価	項目	評価に関する説明
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・風力発電は「新成長戦略」(平成22年6月18日閣議決定)、「エネルギー基本計画」(平成22年6月18日閣議決定)に位置づけられており、日本政府全体として推進する方針。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・調査研究については、一般競争契約を実施し、広く募っている。 ・費目・用途は研究開発等に必要なものに限定されている。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・浮体式洋上風力発電施設を、洋上という厳しい自然環境条件において安全に稼働させるための技術的検討を実施し、安全確保の観点から風力発電の普及拡大に必要な環境整備を行うとともに、戦略的な国際標準化により、我が国の海事産業の振興を図るため、国際的な安全ガイドラインを策定するための調査研究が重要となる。
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	—	※類似事業名とその所管部局・府省名	
	—	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	浮体係留設備に係る技術的な安全面の課題、研究開発の方向性などを検討した。また、浮体式洋上風力発電施設の安全確保等に関する海外動向調査及び保守・管理方法調査を実施し、安全ガイドライン策定の足掛かりとすると共に、適切かつ効率的な予算の執行に努めた。		
予算監視・効率化チームの所見			
廃止	本調査業務については廃止することとするが、本検討結果で得られた知見を活用し、技術基準及び安全ガイドラインの作成に向けた取組みを進める。		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
廃止	本調査業務については目的を達成したので廃止とした。		
補記(過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年行政事業レビュー	—	平成23年行政事業レビュー	新23-1031

※平成23年度実績を記入

国土交通省  
5百万円

国の行政に必要な技術的知見を得るための研究開発に必要な調査等を実施



【一般競争入札】

A. 民間調査研究機関(2社)  
5百万円

浮体式洋上風力発電施設の安全確保等に関する海外動向調査及び保守・管理方法調査を実施

事務経費  
0百万円

諸謝金、委員等旅費、職員旅費

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)

A.デット ノルスケ ベリタス エーエス			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費その他	調査員人件費等	3			
計		3	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. 民間会社

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	デット ノルスケ ベリタス エーエス	浮体式洋上風力発電施設の安全確保に係る保守・管理方法に関する調査	3	1	95.5
2	一般社団法人日本風力発電協会	浮体式洋上風力発電施設の安全確保等に係る海外技術動向等に関する調査	2	2	31
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					